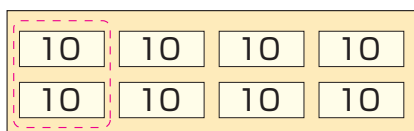




◆何十でわるわり算

80 ÷ 20 の計算のしかたを考えましょう。

① 図を見て、計算のしかたを考えましょう。



20 ずつ^{かこ}囲んで
いくと…。

$$80 \div 20 = \boxed{4}$$

② 80 ÷ 20 は、10 をもとにすると、 $\boxed{8} \div \boxed{2}$ とみることができます。

80 ÷ 20 の^{しょう}商は、 $\boxed{8} \div \boxed{2}$ の^{しょう}商と^{ひと}等しくなります。



140 ÷ 40 の計算のしかたを考えましょう。

① 10 をもとにして考えると、

$$14 \div 4 = \boxed{3} \text{ あまり } \boxed{2} \text{ だから、}$$

$$140 \div 40 = \boxed{3} \text{ あまり } \boxed{20}$$

10 をもとにした計算で
2 あまったのだから、
あまりは 2 ではないね。

② 答えのたしかめをしましょう。

$$\boxed{40} \times \boxed{3} + \boxed{20} = \boxed{140}$$

わる数 × ^{しょう}商 + あまり = わられる数





◆ 2 けた ÷ 2 けたの計算

折り紙が 68 まいあります。1 人に 21 まいずつ配ると、何人に分けられて、何まいあまるでしょうか。

- ① どんな式で求められるでしょうか。

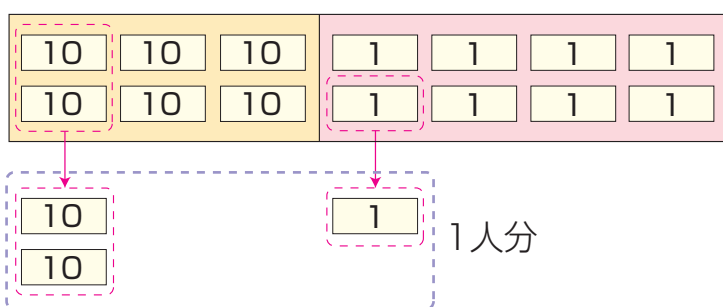
しき式

$$68 \div 21$$



68 の中に 21 がいくつあるかを考えるのだから…。

- ② 図を見て、計算のしかたを考えましょう。

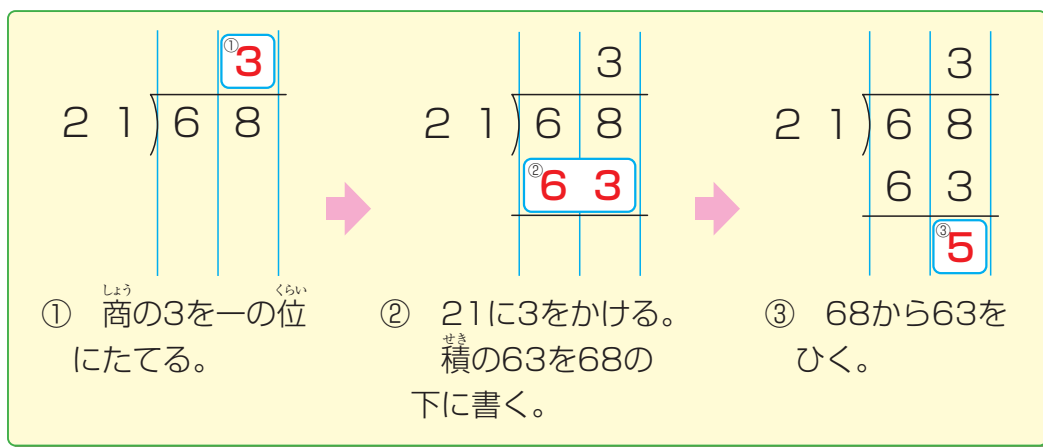


10 1 がいくつあるかな。



答え **3** 人に分けられて、**5** まいあまる。

- ③ $68 \div 21$ の筆算は、次のようにします。



わる数の 21 を 20 とみて、68 の中に 20 がいくつあるかを考えると、かんたんに商の見当がつけられるよ。

- ④ 答えのたしかめをしましょう。

$$21 \times 3 + 5 = 68$$

わる数 × 商 + あまり = わられる数



◆商の見つけ方

しょう 商 にどんな数がたつか見当をつける方法を考えてみましょう。

①

			2
4	2	8	5
		8	4
			1

わる数の 42 を 40 とみると、
85 の中に 40 が **2** こ入るので
しょう 商 には **2** をたてます。

②

			2
3	2	9	5
		6	4
		3	1

見当をつけたしょう 商 が大きすぎたときは、
しょう 商 を順に小さくして、正しいしょう 商 を見つけます。

・ わる数の 32 を 30 とみて見当をつけると…。

3	→	2
3 2	9 5	3 2
	9 6	
	ひけない。	
	6 4	
	ひける。	

・ わる数の 14 を 10 とみて見当をつけると…。

7	→	6	→	5
1 4	7 2	1 4	7 2	1 4
	9 8		8 4	
	ひけない。		ひけない。	
			7 0	
			ひける。	

③

			5
1	4	7	2
		7	0
			2

④

			4
1	8	7	5
		7	2
			3

わる数を大きめにみてしょう 商 の見当をつけて、順に
大きくしてしょう 商 を見つけるほうがかんたんな場合
もあります。

・ わる数の 18 を 20 とみて見当をつけると…。

3	→	4
1 8	7 5	1 8
	5 4	
	2 1	
	わる数の18より大きい。	
	7 2	
	3	
	わる数の18より小さい。	

・ わる数の 18 を 10 とみて見当をつけると…。

7	→	6	→	5	→	4
1 8	7 5		1 8	7 5		
	1 2 6			7 2		
	ひけない。			ひける。		

◆練習

① $71 \div 23$

			3
2	3	)	71
			69
			2

② $85 \div 12$

			7
1	2	)	85
			84
			1

③ $65 \div 34$

			1
3	4	)	65
			34
			31

④ $95 \div 13$

			7
1	3	)	95
			91
			4

⑤ $68 \div 28$

			2
2	8	)	68
			56
			12

⑥ $82 \div 16$

			5
1	6	)	82
			80
			2

⑦ $176 \div 34$

				5
3	4	)	176	
			170	
				6

⑧ $308 \div 53$

				5
5	3	)	308	
			265	
			43	

⑨ $135 \div 17$

				7	
1	7	)	1	3	5
			1	1	9
				1	6

⑩ $549 \div 26$

			21
2	6	)	549
			52
			29
			26
			3

⑪ $786 \div 64$

			12
6	4	)	786
			64
			146
			128
			18

⑫ $632 \div 17$

			37
1	7	)	632
			51
			122
			119
			3



◆わり算のきまり

12 ÷ 4 と、^{しょう}^{ひと}商が等しいわり算を見つけましょう。

$$\begin{array}{r} 12 \div 4 = 3 \\ \downarrow \div 2 \quad \downarrow \div 2 \\ 6 \div 2 = 3 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 12 \div 4 = 3 \\ \downarrow \times 2 \quad \downarrow \times 2 \\ 24 \div 8 = 3 \end{array}$$

わり算では、わられる数とわる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、

商 は変わりません。



^{しき}式の数が変わると、答えはどのように変わるか調べましょう。

かけ算

$$20 \times 3 = 60$$

$$\begin{array}{r} 20 \times 3 = 60 \\ \downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10 \\ 20 \times 30 = 600 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 20 \times 3 = 60 \\ \downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10 \\ 200 \times 30 = 6000 \end{array}$$

わり算

$$60 \div 3 = 20$$

$$\begin{array}{r} 60 \div 3 = 20 \\ \downarrow \times 10 \quad \downarrow \div 10 \\ 60 \div 30 = 2 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 60 \div 3 = 20 \\ \downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10 \\ 600 \div 30 = 20 \end{array}$$

等しい



◆わり算のきまりを使った計算

4200 ÷ 600 を、わり算のきまり^{つか}を使ってくふうして計算しましょう。

$$\begin{array}{rcl}
 4200 & \div & 600 = 7 \\
 \downarrow \div 100 & & \downarrow \div 100 \\
 42 & \div & 6 = 7
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 7 \\
 600 \overline{) 4200} \\
 \underline{42} \\
 0
 \end{array}$$



100 をもとにしたわり算
と同じ考え方だね。

それぞれ 100 でわるから、
0 を 2 こずつ^け消して…。



4200 ÷ 600 のようなわり算では、わられる数とわる数の **0** を同じ数だけ^け消して計算することができます。



4500 ÷ 800 を、わり算のきまり^{つか}を使ってくふうして計算しましょう。

$$\begin{array}{r}
 5 \\
 800 \overline{) 4500} \\
 \underline{40} \\
 500
 \end{array}$$



あまりは 0 を消した分だけ
0 をつけたせばいいね。

$$4500 \div 800 = \boxed{5} \text{ あまり } \boxed{500}$$